

「孫どひ孫が元気の源」

出番 出番 出番 出番 出番 出番 出番 出番 出番 出番



宮本 フクさん (75歳・沢向)

《258》

★：五歳のとき三陸大津波で父親を亡くすまされたが、それが苦勞の始まりでんす。★：母親も大変な思いをすながら、商いをすて三人の子どもをおがすまされたごった。★：十九歳で堀内がら嫁きて、何がつらがつたがと言えば、年寄りだすがいながつたごど。★：稼がないばなんながつたため、三人の男ワラスには、ふびんな思いをさせだがんすう。★：ほんだすかいに、孫やひ孫の世話が楽すみで。★：今、八人家族だども、おじいさん、息子夫婦、孫三人、ひ孫一人。★：家を守る幸せを、本当にしみみど感ずでいますん。★：孫だのひ孫がら元気をもらい、毎日を良ぐ受け止めで笑つて暮らすてました。★：じいさんにも感謝しながら(笑)。

ラブ地球村グローアップ事業研修報告会 体験「忘れない」と感謝

十二月十六日、ラブ地球村グローアップ事業の研修報告会は役場大会議室を会場に、



アラバマ州は有意義だったと報告。左から普代中2年の金子さん、大上君、三船君

教育関係者や保護者ら約三十人が出席して行われました。村の次代を担う小、中学生を広く国内外に派遣しさまざまな文化、歴史、産業、風土などに直接触れてもらう心豊かで創造性に満ちた人材育成「ラブ地球村グローアップ事業」は平成二年から実施され、ことしで十四回目になります。海洋体験学習には、B & G

「海洋体験セミナー」として、普代小五年の砂合美成さん、鳥茂渡小五年の日野澤輝君、普代小五年の下道峻聖君が八月三日から一週間の日程で沖縄県に派遣研修。同「体験クルーズ」に普代中三年の立白彩乃さんと同二年の宮本彩加さんが三月二十五日から六日間の日程で洋上研修。中学生の国際交流研修は、七月二十八日から八月九日までの約二週間、アメリカのアラバマ州で行われ、普代中学校二年の三船玄太君、大上勇

川柳 文芸の世界

川柳 (575)

川柳愛好会 二月例会作品

久し振り宿の料理に舌鼓 嗟峨 待女
 臍繰りが日ごとに減っていくばかり
 問題はこれから先の長い道 三上 翠香
 引き算で暮らした私もう八十路
 難問をクリアした子のいい笑顔
 海の宿夜景を添えて一句詠む 深渡 汀女
 引き算で悪い癖など引いてみる
 里すずめいつしか宿る鬼瓦
 問題に地位と金とが絡みつく 太長根英子
 宿帳にあの日苦惱おいてある
 自問自答少し大人になれたかな
 引き算をすれば私の影もない 加差野静浪
 問題を煮詰めて金に突き当たる
 どうしても引けぬ数字で腹を決め
 民宿の窓の二人に月光り



「沖縄県で貴重な体験をしました」と報告する5年生の下道君(普代小)、鳥茂渡小(左から)と日野澤君(普代小)

君、金子由希さんの三人が研修生として参加しました。八人は、それぞれがともに「有意義で貴重な体験をいただきありがとうございます」

と、忘れられない体験に感謝を込めて報告。 榎屋伸夫助役が、「八人は共に素晴らしい研修を積んできた。貴重な体験を大事にこれからの生活にいかし活躍してほしい」と講評しました。 砂合さんら八人は、次々に写真で研修を振り返りながら、実り多かった体験談を発表していました。



スライドで体験発表する普代中3年の立白さんと同2年の宮本さん(左から)